

作成日 2010年 7月20日
改定日 2017年 12月12日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サクラつやだしニス500ml (KV500)		
会社名	株式会社 サクラクレパス		
住所	〒540-8508 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央1丁目6-20 (本社)		
担当部門	品質管理部		
電話番号	(06)6910-8816	FAX番号	(06)6910-8832 (本社)
	(072)873-1295	FAX番号	(072)873-5505 (大阪工場)
製品コード	KV500		
整理番号	KV500-004		

2. 危険有害性の要約 (描画材用定着剤)

GHS分類

物理化学的危険性	: 火薬類	分類対象外
	: 可燃性/引火性ガス	分類対象外
	: 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	: 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
	: 高压ガス	分類対象外
	: 引火性液体	区分2
	: 可燃性固体	分類対象外
	: 自己反応性化学品	分類できない
	: 自然発火性液体	分類できない
	: 自然発火性固体	分類対象外
	: 自己発熱性化学品	分類できない
	: 水反応可燃性化学品	分類できない
	: 酸化性液体	分類できない
	: 酸化性固体	分類対象外
	: 有機過氧化物	分類できない
	: 金属腐食性物質	分類できない
健康に関する有害性	: 急性毒性(経口)	区分外
	: 急性毒性(経皮)	区分外
	: 急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	: 急性毒性(吸入・蒸気)	区分4
	: 急性毒性(吸入・粉塵・ミスト)	区分外
	: 皮膚腐食性/刺激性	区分外
	: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2
	: 呼吸器感作性	区分外
	: 皮膚感作性	区分外
	: 生殖細胞変異原性	区分外
	: 発癌性	区分1
	: 生殖毒性	区分1
	: 生殖毒性・授乳影響	分類できない
	: 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1 (中枢神経系, 全身毒性)
		区分2 (肝臓, 血液系, 腎臓)
		区分3 (気道刺激性)
	: 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1 (血液系)
		区分2 (肝臓, 呼吸器系, 脾臓)
	: 吸引性呼吸器有害性	区分外

環境に対する毒性	: 水生環境有害性(急性)	区分外
	: 水生環境有害性(慢性)	区分外
	: オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素 (描画材用定着剤)

絵表示 :



注意喚起語	: 危険	
危険有害性情報	: 引火性の高い液体及び蒸気 吸入すると有害 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ、又は、眠気又はめまいのおそれ 臓器 (肝臓, 血液系, 腎臓) の障害のおそれ 長期にわたる又は反復ばく露による臓器 (血液系) の障害 長期にわたる又は反復ばく露による臓器 (肝臓, 呼吸器系, 脾臓) の障害のおそれ	強い眼刺激 発がんのおそれ 臓器 (全身毒性, 中枢神経系) の障害

注意書き :

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を設置すること／アースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／製造者／供給者又は所管官庁が指定する機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱後は製造業者、供給者又は所管官庁が指定する取扱い後に洗浄する体の部分をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【救急処置】

気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
 特別な処置が必要である。
 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断／手当を受けること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当を受けること。

【消火】

消火するために製造者／供給者又は所管官庁が指定する適当な手段を使用すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

※本項は描画材用定着剤を工業的且つ大量に取り扱う場合の危険有害性を評価したものです。

製品の使用上の注意を守りご使用される場合の危険有害性は、上記評価よりも低くなると考えております。

3. 組成、成分情報（描画材用定着剤）

単一製品・混合物の区別		混合物		
一般名		描画材用定着剤		
危険有害成分及び含有量				
成分	%	官報公示整理番号	CAS No.	化管法種-号番号
イソプロピルアルコール	30.0-40.0	(2)- 207	67-63-0	—
エタノール	5.0-10.0	(2)- 202	64-17-5	—
エチレングリコールモノブチルエーテル	1.0- 5.0	(2)- 407	111-76-2	—

4. 応急措置（製品）

- 吸入した場合：自他覚症状があれば、新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、すみやかに医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 飲みこんだ場合：無理に吐かせず、すみやかに医師の手当を受けること。

5. 火災時の措置（製品）

- 消火剤：泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
- 使ってはならない消火剤：特になし。
- 特定の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は可能な限り風上から行い有害なガスの吸入を避ける。
- 消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡等）を着用する。

6. 漏出時の措置（製品）

- 人体に対する注意事項：特になし。
- 環境に対する注意事項：製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法：少量の場合は布等で吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意（製品）

- 取扱い：
- 技術的対策：特になし。
- 注意事項：特になし。
- 特別な安全取扱注意事項：特になし。
- 保管：
- 適切な保管条件：直射日光を避け、高温になる場所で保管しない事。
火気、熱源より遠ざける事。
- 安全な容器包装材料：特に指定なし。

8. 暴露防止措置（製品）

設備対策：換気を良くし、作業環境濃度が暴露限界を越えることがないように抑制する。

許容濃度：

成分名	管理濃度	日本産業衛生	ACGIH
イソプロピルアルコール	400ppm	400ppm	200ppm (TWA)
エタノール	—	—	1000ppm (TWA)
エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm	—	20ppm (TWA)

保護具：通常使用では特に必要なし。

9. 物理的及び化学的性質（製品）

物理的状态

形状：容器に収容されている液体

色：淡黄色透明

臭い：アルコール臭

pH：8～9

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点：77℃

融点：データなし

引火点：12℃

蒸気圧：データなし

密度：1未満

溶解性

溶媒に対する溶解性：水に可溶。

10. 安定性及び反応性（製品）

安定性：予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。

反応性：強酸化剤、酸と反応する

避けるべき材料：強酸化剤、酸

危険有害な分解生成物：燃焼等により、CO、NO_x等の有害ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報（製品）

急性毒性

吸入すると有害

眠気又はめまいのおそれ

発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器（全身毒性、中枢神経系）の障害

臓器（肝臓、血液系、腎臓）の障害のおそれ

局所効果

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

※製品の使用上の注意を守りご使用される場合は、危険有害性はほとんどないと考えております。

12. 環境影響情報（製品）

現在のところ知見なし。

1 3. 廃棄上の注意（製品）

都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意（製品）

包装材の破損や内容物の漏れがないことをたしかめる。

国連番号：1 2 6 3

1 5. 適用法規

製品：消防法危険物第4類第1石油類非水溶性液体

描画材用定着剤：安衛法名称等を表示及び通知すべき有害物

(イソプロピルアルコール, エタノール, エチレングリコールモノブチルエーテル)

1 6. その他の情報

参考資料：JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

各配合原料のSDS

日本工業規格

各原料メーカー

※この“安全データシート”は安全保証書ではありません。

本製品を取り扱う場合、この“安全データシート”を参考として、使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じて下さい。また、“安全データシート”の内容は法令の改正及び新しい知見に基づき改定される事があります。